

第九十一回メーデーにあたり、ご挨拶を申し上げます。

今年は一九二〇年五月二日に、我が国でメーデーがはじめて実施されてから百年を迎えます。日頃より、宮崎会長様をはじめ皆様には大変お世話様になっております。

現在、我が国は、新型コロナウイルス感染症の世界的規模での蔓延により、国民の健康・生命が脅かされ、国難ともいえる危機に直面しており、全都道府県を対象とした「緊急事態宣言」が発出されております。

感染防止の最前線で働く方々の中にも、連合長崎関係の皆様が沢山おられます。

全ての皆様のそれぞれの現場でのご奮闘に感謝し、皆で励まし、支えあって参りたいと思っております。国民民主党は、皆様の生活と職場を守るために、十兆円の給付、十兆円の減収補償、十兆円の減税、からなる総額三十兆円の緊急経済対策を早い段階から主張してきました。

国民の健康と命を守るために、最悪を想定して先手先手で対策を講じていかなければなりません。水際対策とクルーズ船対応、また、PCR検査や医療体制の構築で遅れをとった現政権に任せてはられない状況です。

私たち国民民主党は、今後とも給付の拡大、事業の継続と雇用の維持、また医療・検査体制の強化を訴え続けてまいります。

我が党は、正直な政治、偏らない政治、現実的な政治、の実現に向けて、立憲民主党、社会民主党、社会保障を立て直す国民会議の仲間たちと共同会派を構成し、一丸となって活動しています。皆様とともにこの危機を乗り越えるため、「働く者」「生活者」の立場で、皆様の健康と命、生活と雇用を守るために全力を尽くします。

宮崎会長様を中心とされ、連合長崎の益々のご発展を祈念申し上げます、ご挨拶といたします。

令和二年五月一日

国民民主党長崎県第1区総支部長

衆議院議員

西岡 秀子

